



あいおいニッセイ同和損保株式会社栃木支店から寄附

2/16

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社栃木支店は、地域密着の環境に配慮した事業活動の一環として、保険証券・約款などのペーパーレス化による、経費削減



市長へ寄附を渡す加川理事(支店長)

提供：環境課

※ SDGs…国連で採択された国際的な持続可能な開発目標

の成果から、市へ30万円の寄附を行いました。
寄附金は、SDGs(※)にも掲げられている、食品ロス削減の施策に活用する予定です。

クリーンパートナー調印式

3/1

株式会社稲葉設備と市は、クリーンパートナーの合意書を取り交わしました。

合意した事業者は、会社に近接する市道の指定区域内において、空き缶や散乱ごみなどの収集や除草など



合意書を取り交わす大橋代表取締役(左)

提供：環境課

による美化活動をボランティアで実施し、市内の快適な居住環境の維持向上に努めます。

明治安田生命保険相互会社との包括連携協定の締結

3/5

明治安田生命保険相互会社と市は、高齢者支援、スポーツ、産業、観光振興など、市の社会経済の発展や地域活性化のための包括連携協定を締結しました。今後、市特産品のPR



協定書を持つ泉谷直樹支社長(左)

提供：総合政策課

や催事への協力など、「人が「集まり」、地元が「つながり」、経済が「まわる」地域に根ざした活動に向けて連携していきます。

日光市危険物協会から新1年生へ学用品の寄贈

3/1

日光市危険物協会は、市内の全ての新入学児童522名に学用品を寄贈しました。

幼少期からの防災意識の高揚を図ることが重要であるとの考えにより、昭和50年から継続して実施



教育長へ自由帳を渡す大橋会長(左)

提供：消防本部予防課

しており、今回は、市内各消防署を紹介した表紙の自由帳を子どもたちに寄贈しました。

救急民間協力者表彰

3/1

令和2年11月に、市内在住の50代男性が心肺停止状態となった際に、中小来川自治会員数名が協力し、迅速かつ適切な119番通報および救命手当を実施した



表彰状を受け取る中小来川自治会員2名(右から2番目と中央)

提供：日光消防署

ことで、傷病者は後遺症なく社会復帰することができました。

市は、この功績をたたえ、中小来川自治会に感謝状を贈りました。

アイスボックスから新1年生へランドセルカバーの寄贈

3/11

H.C. 栃木日光アイスボックスは、市内の全ての新入学児童へ、子どもたちの交通安全に対する意識の向上や事故防止などを目的に、反射板付きランドセルカバーを寄贈しました。



教育長へランドセルカバーを渡す土田英三チームディレクター(左)

提供：学校教育課

今後、アイスボックスの選手・スタッフは、小学生の通学路の見守り活動も実施していく予定です。



生涯学習情報
コーナー

にこにこ

第17回

くわしくは
生涯学習課

☎0288-21-5182

今月は、今市公民館・市立図書館(電子図書館)を紹介します



今市公民館

今市公民館では、主に今市地区の皆さんを対象にさまざまな教室を開催しており、その参加者が教室終了後、サークルを結成し、自主的に活動をしています。

この度、ボタニカルアート教室の受講者が、新たにサークルを結成し、5月から活動を始めました。

ボタニカルアートは、写真がなかった時代に、花や植物全体の姿や色を図鑑や記録に残すために、正確に描いたものが発祥で、その



アドバイスを受けながら描いています

日光市ふくろうの森
手塚登久夫石彫館

作品紹介



手塚登久夫 作
「鼻」

美しさから、いつしか美術品となりインテリアや絵はがきとして、文字通り「花を添え」、生活にうるおいを与えてくれる存在になりました。

サークルの会員の皆さんは、多くの方が教室で初めてボタニカルアートに触れましたが、講師や周りの方にアドバイスをもらい、上手に描けるようになりました。そして時には息抜きに話にも花を咲かせて、楽しい時間を過ごしています。

日光市は四季折々、たくさんのできな花が咲きます。今後は、それらの地元に咲く花を題材に描いていく予定です。

ボタニカルアートサークルをはじめ、今市公民館の自主活動サークルでは、参加者を募集しています。生涯の趣味を見



出来上がった作品

つきたい方、趣味を通して仲間づくりをしたい方は、種類や詳細をご案内しますのでお問い合わせください。

問合せ先：今市公民館 ☎(22) 6211



図書館(電子図書)

「すぐに本が読みたいけれど、借りに行けない…」「手軽に本が読みたいな」などとお思いの方、市の電子図書館はご存じですか？

市内在住の方や市内に勤務・在学する方であれば、市の電子図書館が無料で利用できます。スマートフォンやタブレットなどの端末とインターネット環境があれば、電子図書館で電子書籍を借りて、読むことが可能です。

用意するものは、アクセス用のIDとパスワードです。IDとパスワードは、図書館(今市・日光・藤原)の窓口で発行します。

借りるときは、図書館のホームページ (http://opac.city.niko.nagano.jp/) で「電子図書館」をクリックし、IDとパスワードでログインすれば、2週間の期間内に5点まで電子書籍を借りることができ、返却も簡単です。もし返却を忘れても、借りてから2週間後の返却期限に自動で返却

されます。

現在貸し出している電子書籍は、小説や児童書の他、旅行雑誌など約9千冊を取りそろえています。コロナ禍で非接触型の電子図書の貸し出しが有効なことから、国の臨時交付金を活用して新たに増冊しました。図書館では、今後も書籍の充実を目指していく予定です。

本を読むことは、私たち一人一人が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていきます。人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠かせないものです。媒体が紙から電子に変わったとしても、それらが変わることはありません。生涯学習の重要性が叫ばれて久しい昨今、自ら学ぶツールの一つに電子図書を加えてみてはいかがでしょうか。24時間365日、いつでも、どこでも、無料で本が読める電子図書館をぜひご利用ください。



パソコンで電子図書を利用する小学生

問合せ先：今市図書館
☎(22) 6216

